

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年 平成 年 月
レジメン名	XP(カペシタビン+シスプラチン)(ホスアプレビタント)		
疾患名	胃がん	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン80mg/m <sup>2</sup> day1、カペシタビン2400mg~4200mg/body 分2経口投与 day1夕食後-day15朝食後		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	主ルート																									
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																					
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																					
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																					
3	主ルート	ハロ/セトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																					
	点滴静注	テキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																					
		テキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																					
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																					
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m <sup>2</sup>		●																					
		シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																								
5	主ルート																									
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●	●																			
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body			●																				
	点滴静注	テキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body	30 分		●																				
7	主ルート	生食100mL	1 本 / body				●	●																		
	点滴静注	テキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分			●	●																		
8	経口投与	カペシタビン	9999 mg / body			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
		分2 医師の指示通り																								
		(体表面積) 1.36m <sup>2</sup> 未満 1回1200mg/body																								
		1.36~1.66m <sup>2</sup> 未満 1回1500mg/body																								
		1.66~1.96m <sup>2</sup> 未満 1回1800mg/body																								
	1.96m <sup>2</sup> 以上 1回2100mg/body																									
	day1夕食後-day15朝食後まで服用																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- カペシタビンは、C法で投与する。day1夕食後-day15朝食後まで服用し、その後7日間休薬
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+テキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。